

みんなで楽しくスポーツを

No.263 2011年2月



「ゆめ半島千葉国体」フェンシング
成年女子エペ（優勝）



マイスポーツ発見プログラム
H22.11.20（丸亀市民体育館）

スポーツで健やかライフ



第21回県民スポレク祭
H22.11.7（サンポート高松）



- スポーツのすすめ
香川県教育委員会事務局
保健体育課 課長 岡 興司
- スポーツリーダーバンク登録指導者の声
花房順子、浪尾敬一、武田 啓
- わが町のスポーツ自慢
観音寺市、東かがわ市
- かがわのスポーツ・インフォメーション
- トピックス

香川県教育委員会

スポーツのすすめ

あらためてスポーツ礼讃



香川県教育委員会事務局

保健体育課 課長 岡 興 司

今の職場になり、とてもよかったことの一つに、スポーツとそれに携わる人々のさまざまな姿を身近に見て、感じて、関われるようになったことがあります。

これまでも、スポーツには、さまざまな形で関わってきました。中学生の時には、運動部活動で仲間と汗を流し、大学では同好会に取り組み一方で、野球やラグビーなどの大学対抗戦に一喜一憂したものです。今は、スポーツを楽しむことの大切さを一人でも多くの方に伝えたいと考えています。

【夢・希望・元氣】

本県は小さな県ですが、国民体育大会では毎年素晴らしい成果を残しています。総合成績で10年連続20位台以内を確保しており、多くの県民に夢や希望や元氣を与えています。県では、競技力向上のためにさまざまな取組を行っています。将来を見据えたものと

して、心身ともに伸び盛りの小学

4～5年生に対して「スーパー讃岐っ子育成事業」を行っています。多くの専門家のご協力を得て、豊かなスポーツの素質をもつ小学生に対して、育成プログラムを用い、知識、心構えからはじめて、さまざまなスポーツの経験を積んでもらい、基礎的な能力を伸ばさせるものです。こうした子ども達の中から、将来、優れたアスリートが誕生することを夢見しています。

また、昨年6月に丸亀競技場で開催された日本陸上競技選手権大会では、全国レベル、中には世界レベルの高度な戦い(挑戦)が目の前で繰り広げられました。その技術の高さや選手の気迫の凄さに観戦者も一体となっていました。たとえ競技に参加しなくても、背景や年代の異なる多くの人々を結びつけるスポーツの魅力をあらためて確認できました。

【学ぶ】

スポーツに取組むことで、社会的に必要なルールを学ぶことができると考えています。スポーツにおいて勝つため、あるいは、楽しむためには、選手同士の協力が何よりも大切です。スポーツで培われたチームスピリットは家庭や地域社会にも良い恩恵をもたらしています。

【楽しみながら鍛える】

スポーツは生活に異なる刺激や視点を与えます。国が実施している全国体力テストで3年連続日本一になった福井県の担当者は、その理由を聞かれて、地元のさまざまなスポーツ大会や行事が役に立っている等のコメントをしています。好きで取り組めるスポーツを持つことは一生の宝になるかもしれません。そうした中、身近な

地域で、子どもから高齢の方まで、それぞれの好みや目的に応じて、いつでもどこでも生涯にわたるスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブが市町や関係者のご努力により設立・運営されています。多くの人々が参加することで新たな交流が生まれ、地域にぎわいをもたらすことも期待できます。県もできる限りこの総合型地域スポーツクラブの設

立・運営にお手伝いできればと考えています。

【You're on】

香川丸亀国際ハーフマラソンでは、私は第63・64回大会でロープを持って走路確保のお手伝いをさせていただきました。目の前を走っていく若男女は、どの人も走ることを心から楽しんでいて、思わず声援を送りたくありません。スポーツには、多くの関係者の方々(市町、学校教職員、競技団体、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、スポーツドクター、薬剤師、アスレチックトレーナー等々)が携わられ、情熱的に取り組まれています。こうした皆さんのささえによりスポーツが成り立っており心から敬意を表する次第です。

【最後に】

少子・高齢化や核家族化など私たちを取り巻く社会構造が大きく変化する中で、いつまでも元気に生きがいを持って暮らしていくためにも、あらゆる世代の方々にスポーツに興味を持って取り組んでいただけたらと願っています。香川県のスポーツ関係者の一員として、これからも、多くの関係者の方々と一緒にスポーツの推進に取り組んでいきたいと思えます。

スポーツリーダーバンク登録指導者の声

ずっと運動を続けるために



四国医療専門学校
スポーツ医療 学科長
高松市 花房 順子

私はアスレティックトレーナーとして子どもから高齢者までの運動指導をしておりますが、多くの方々は身体を鍛えることに主眼をおいており、身体を楽にすることを忘れがちだと感じます。スポーツや各種の運動を続けるためには、身体の調子を常に整えていくことを心がけることも必要で、特にケガをしない身体にすることが重要なのです。

ケガをしない身体づくりをするためには、トレーニングをするのと共に、疲れを蓄積させないように行うことが組み合わされることが理想です。筋肉は疲労が蓄積されると硬くなり、この状態が長く続くと思わぬケガを招くことがあるのです。私自身、学生時代のスポーツで腰を悪くし、いわゆるぎっくり腰で痛い経験を何度もしました。運動前後のストレッチ

グやセルフマッサージなど、筋肉の柔軟性を高め、疲労を蓄積させないように行うことでケガを予防し、長く運動を続けられるようにしましょう。

種をまく仕事



健康・福祉指導者
(日本体育協会公認アスレティックトレーナー)
高松市 浪尾 敬一

縁あってたくさんの方のスポーツ競技者と関わっています。目標に向かってひたむきに努力する選手たちと輝くような時間を共有させて頂いています。

「トレーナーです」と自己紹介すると、最初は競技者や監督さんから疲労したからマッサージ、筋肉が硬くなったのでストレッチ、捻挫したからテーピングという依頼を多く受けます。

ですが、アスレティックトレーナーの本当の役割は単にテーピングやマッサージなどを行うばかりでなく、競技者に正しいスポーツ医学の知識を浸透させ競技者

が自らの能力で競技力向上や障害予防、コンディショニングができるように自立を支援することだと思っています。競技者自らをまもり成長させる種をプレゼントできるように心がけています。

「How to」ではなく「なぜ」行いかというWhyを日々積み重ねて、やがて競技者がたくましく成長し後輩を指導する姿を見かけた時、ジャージのポケットの中で小さくガッツポーズしています。

充実した毎日



スポーツ・レクリエーション指導者
東かがわ市 武田 啓

私は、週4回、同好会バドミントンクラブの基本練習アドバイザーとして、そして週2回はジュニアバドミントンクラブのコーチとして、昼は仕事に、夜はバドミントン活動に頑張っています。

今日、世の中は嫌なことが多く、また、人間関係が難しくなってきた

ています。そして、その中で私は毎日を楽しく過ごしていくことを目標に生きています。今“という時間は二度と返ってきません。限られた時間を大切に過ごしていくためには、今は勉強、今は遊び、今はバドミントン、とメリハリをつけて生活することが重要だと思います。また、スポーツをする上では、今私は何をしなければならぬのか、という状況判断を的確にし、精神力、体力、技術力の限り力を出していくということを実践しています。

そして、今一番私が大切にしている言葉は、「努力は嘘をつかない」という言葉です。この言葉の努力をすれば結果が出るという意味を持つているところに強く感銘を受け、特に子どもたちにこの言葉の意味が実感できるようにしています。自分自身常にこの言葉を基本においてクラブのみんなと一緒に楽しく頑張っています。

今、私の毎日は、とても充実した毎日です。

わが町のスポーツ自慢

観音寺市

『観音寺元氣アップフェスタ』

観音寺市では平成20年度から市内小学校の子どもたちとその保護者の参加により、「観音寺元氣アップフェスタ」を毎年11月に市総合運動公園内の陸上競技場で開催しています。

今の子どもたちは、スポーツ少年団などで活発に運動している子どもたちがいる一方で、コンピュータゲームに夢中になったり、又学習塾通いで忙しいことなどにより、十分にスポーツに親しんでいない子どもたちに大きく二極化してきていると言われております。

そのようなことから、子どもたちの体力や運動能力に低下傾向がみられます。

そこで観音寺市では、子どもたちが広いグラウンドの芝生で力いっぱい走り回り、親子でニュースポーツを体験したり、陸上種目で友達と一緒にやって自己の記録に真剣に挑戦したりすることによって、体を動かす楽しさや記録を出した時の喜びを味わうとともに、運動を通して仲間と交流を深めてもらうなど、元気で体力のある子どもを育成を目的としてこのイベントを開催しています。

今年も天候にも恵まれ約2000人の親子の参加がありました。ス

タッフは、市体育指導委員さんと小学校の校長先生や体育部の先生方です。午前中のみの開催でありますが大変好評です。内容は50メートル走や立ちはばとび、ボール投げの記録に挑戦したり、ニュースポーツであるフライングディスク、グラウンド・ゴルフ、ストラックアウト、ペタンクドッチビー、長縄による8の字とびなどの運動遊びです。お父さんやお母さんとともに参加して、歓声を上げて楽しんでる姿がともほはつらつとして印象的でした。

この取り組みはまだ始まったばかりであります。市としても重要なスポーツイベントの一つとして位置づけし、今後とも元気で体力のある子どもたちの育成に努めていきたいと考えています。

連絡先 観音寺市教育委員会市民スポーツ課
電話 0875-2313941



東かがわ市

『引田パークゴルフ場』

東かがわ市では、引田スポーツセンター内にパークゴルフ場が2009年7月1日にオープンしました。旧多目的広場とアスレチック広場を改修し、総面積1.7haの天然芝のパークゴルフ場です。連日高齢者の方、休日には家族連れといった市民の方でにぎわいを見せています。

パークゴルフとは、1983年に「公園で幅広い年代の人ができるスポーツ」として北海道で考案されたニュースポーツでゴルフのミニ版のようなもの。ルールはいたってシンプルです。緑に囲まれた芝のコースで、クラブでボールを打ちカッピンするまでの打数を競います。プレーは、直径6cmのプラスチック製のボールと専用のクラブ1本で行ないます。クラブは、打球が高く上がらないよう安全面に配慮してあります。コースは東かがわにちなんで「手袋コース」「ひけた鯛コース」と名付けられた2コースで、各コース9ホールの全18ホールです。地域の人々とのコミュニケーションの場として、健康増進の手段としてパークゴルフの多様な可能性が注目を集めています。

また、同施設における延べ利用

者数は予想を大きく上回り半年で1万人を突破。カップの位置を定期的に変えるなど、飽きのこないコースに設定しています。

健康で心豊かなライフスタイルをつくる「生涯スポーツ」のひとつとして、パークゴルフを始めたい方いませんか？

連絡先 東かがわ市教育委員会生涯学習課
電話 0879-261238

施設連絡先
一般財団法人東かがわ市スポーツ財団
引田温水プール
電話 0879-3317163



かがわのスポーツ・インフォメーション

平成22年度かがわ 生涯スポーツフォーラム 盛大に開催！



子どもから高齢者まで誰もがいつでも参加できる総合型地域スポーツクラブの在り方を考える平成22年度かがわ生涯スポーツフォーラムが、十二月十二日（日）県教育会館ミューズホールにおいて基調講演とシンポジウム、教室体験の三部構成で県内のスポーツ関係者約百五十名が参加して開催されました。

基調講演は、文部科学省スポーツ・青少年局長生涯スポーツ課長の坂元讓次氏を講師にお迎えし、「地域スポーツのこれから」総合型地域スポーツクラブを中心として」と題してご講演いただきました。



「総合型地域スポーツクラブ創設や育成を推進する理由を数字で示すように求められることも多いが、秋田の十日町などで医療費の削減に貢献した例を説明している。今後はさまざまな場面で地域スポーツの関係者が総合型クラブは地域の健康増進にも寄与することを情報発信することが必要である。」とお話されました。

シンポジウムでは、香川大学教授・屋島UROスポーツクラブの野崎武司氏をコーディネーターに「総合型地域スポーツクラブを支える力をさぐる」女性の元気は地域の元気！女性が元気でクラブも元気！」と題してシンポジウムを行い、シンジストとして参加された、石川氏（一ノ谷スポーツクラブ）森永氏（しろとりスポーツクラブ）大山氏（クラブ育成アドバイザー）からは、日頃のクラブ運営の苦労話や、人とかかわることの楽しさなどの話



があり、野崎氏は、「クラブの運営には事務局力が必要不可欠」そのためにも『百術は一誠に如かず（人付き合いは、術は必要だが、術を尽くしても根幹の気持ちがないと伝わらない）』の姿勢で事務局を運営すれば、クラブを円滑に、そして発展させることができるのではないかとまとめられました。

教室体験では、NPO法人スポーツクラブ飯山で人気の加門氏が指導している「シニア体力アップ教室」と、ちよーほい豊浜スポーツクラブの久保会長が用具を手作りした「スポーツ吹き矢」が紹介されました。

総合型地域スポーツクラブ マネジャー養成講習会

今年度の総合型地域スポーツクラブマネジャー養成講習会が、十二月十九日（日）に閉講しました。この講習会は、総合型地域スポーツクラブの創設や運営において中心的役割を果たすクラブマネジャーと、それを補佐するアシスタントマネジャーの育成を目的とし、十一月～二月にかけての三日間の日程で行われました。

修了された二十七名の皆様、修了おめでとうございます。それぞれの地域やクラブにおいてご活躍されることを期待しております。



今年度修了された皆様

- | | | |
|------|-------|-------|
| 高松市 | 稲垣 孝一 | 岩田 生男 |
| | 小野瀬 毅 | 小泉いつ子 |
| | 近藤久仁子 | 田畑 誠悟 |
| | 早谷川 悟 | 前坊いと子 |
| | 松本 祥孝 | 溝口 勲 |
| | 三野 正則 | |
| 丸亀市 | 三谷弥須彦 | |
| 坂出市 | 大浦 翔 | |
| 観音寺市 | 石川 和子 | 伊瀬雄一郎 |
| | 白川 邦明 | 橋本けい子 |
| 多度津町 | 齊藤 正典 | 丸尾 幸雄 |
| 大阪府 | 太田 康優 | |
| 鳥取県 | 瀧田 祐吉 | 谷上 亮 |
| 岡山県 | 大澤 尚義 | 瀬能千代子 |
| 広島県 | 丹下 和昭 | 丸本 勇二 |
| | 宮本 初恵 | (敬称略) |

3	2	1	平成22年度講義内容
実践事例（屋島UROスポーツクラブ） クラブマネジャーの役割 龍谷大学経営学部 准教授 松永 敬子	クラブのつくり方 しかもとバンブークラブ顧問 松田 雅彦 理事 齊藤 栄嗣	実践事例（栗林スポーツクラブ） クラブマネジャー 早谷川 悟	地域スポーツクラブとは 地域スポーツクラブの現状 香川県広域スポーツセンター クラブマネジャー 早谷川 悟

かがわのスポーツ・インフォメーション

6	5	4	3	2	1	平成22年度内容
指導計画と安全管理 県教育委員会保健体育課 スポーツの安全と保障 スポーツ安全協会	ジュニア期のスポーツ 指導者の役割Ⅰ 県教育委員会保健体育課 トレーニング論Ⅰ・スポーツと栄養 四国学院大学	文化としてのスポーツ 地域におけるスポーツ振興 スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅰ 百石病院	救急法 正しいテーピング法 フモト接骨院	キンボール 県キンボール連盟 ミニテニス 香南ししまるSC	野外活動 県キャンプ協会	藤本 哲夫 西山 徹
植松 芳美	田中 美季 渡辺 浩三	田中 聡 蔵本 守雄	石井 博喜 篤 篤敬	土居 正則 太田 盛廣		

生涯スポーツ指導者養成講座

生涯スポーツの積極的な推進や高度化・多様化するニーズに対応できる指導者の養成を目的に、毎年開講している講座が終了しました。スポーツに関する理論と実技についての研修を修了した三十三名の方々に県教育委員会から修了証が授与されました。また、(財)日本体育協会のスポーツ指導者資格である、「スポーツリーダー」に二十九名の方が認定されました。

修了おめでとうございます。

高松市

佐竹 涼

森川 均

矢部 紀子

近藤久仁子

近藤由香理

古市 麻記

能祖 秋奈

入川 佳奈

田畑 誠悟

上吉川久美子

笠井 敏恵

稲沢美奈子

丸亀市

森 章二

嶋村 英次

太田 一弘

坂出市

前川 賢三

古家 昇

齊藤 里美

善通寺市

吉田 実

観音寺市

大西賀世子

さぬき市

吉岡 敏彦

三木町

石原 勉

多度津町

富田 友美

まんのう町

西山 和輝

石川 貴章
(敬称略)



第二十三回全国スポーツ・レクリエーション祭報告

第二十三回全国スポーツ・レクリエーション祭が、十月十六日から十九日までの四日間にわたり、『きとぎとスポレク きてきて富山』をスローガンに富山県富山市の富山総合体育館を中心に、富山県内十五の市町で開催されました。期間中は晴天に恵まれ、一般観客を含めて、延べ二十一万人の参加者を数える盛大な祭典となりました。香川県からは十五の競技に総勢百四十人の選手・監督・スタッフたちが参加し、各種のスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、全国の仲間と地域・世代を超えて交流を広げました。



次回スポレク祭は、今秋、栃木県で開催されます。

スポレク“エコとちぎ”2011
マスコットキャラクター
「とちまるくん」



第五十九回全国青年大会報告

第五十九回全国青年大会が、十一月十二日から十五日までの四日間にわたり、東京武道館を主とした都内各会場で盛大に開催されました。

今大会には全国から二千五百名をこえる青年が参加し、競技と発表を通じて交流を深めました。香川県からも総勢六十一名の監督・選手たちが参加し、各種目で健闘しました。主な上位成績入賞は次のとおりです。

種目	成績	チーム・選手名
バレーボール男子	3位及び監督功労賞	城辰クラブ 丸亀市
写真	優秀賞	藤岡 悟 三豊市

かがわのスポーツ・インフォメーション

ゆめ半島千葉国体 入賞者一覧（3位以上）

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属名
優勝	ウエイトリフティング	少年男子	+105kg級 クリーン&ジャーク	吉田 智貴	香川中央高等学校
	フェンシング	成年女子	エペ	小 幡 淑	高松高等学校
				勝瑞 礼美	香川誠陵高等学校
	ソフトボール	少年女子	-	香 川 県	高松南高等学校
					丸亀城西高等学校
	カヌー	少年女子	カヌースプリントカヤックシングル(500m) カヌースプリントカヤックシングル(200m)	小原 亜貴	坂出高等学校
カヌー					少年男子
	カヌー	少年女子	カヌースプリントカヤックフォア(200m)	多田羅英花 多田羅彩花 渡辺由希音 大西くるみ	
2位				陸上競技	成年女子
	レスリング	少年男子	フリースタイル 60kg級	鴨居 正和	香川中央高等学校
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル 74kg級	岩崎 裕樹	神奈川県立高津養護学校
	ウエイトリフティング	少年男子	77kg級 スナッチ・トータル	宮崎 亮太	多度津高等学校
	ウエイトリフティング	少年男子	+105kg級 スナッチ・トータル	吉田 智貴	香川中央高等学校
	馬術	成年女子	自由演技馬場馬術	安田小都子	スタリオンS T
	ライフル射撃	成年男子	10mエアピストル 60発競技 ビーム・ピストル 40発競技	堀水宏次郎	香川県警察
	カヌー	少年女子	カヌースプリントカヤックペア(500m)	新岡ひかり 角本 麻衣	坂出高等学校
				カヌー	少年女子
	銃剣道	少年男子	-		
ゴルフ	少年男子	-	石徳 俊樹	香川西高等学校	
3位	※スケート	成年男子	ショートトラック 1000m	北原 良祐	関西学院大学
	陸上競技	少年男子共通	棒高跳	大久保大輔	観音寺第一高等学校
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル 55kg級	西山 凌代	高松北高等学校
ウエイトリフティング	少年男子	53kg級 スナッチ	石川 直樹	多度津高等学校	

※くしろサッポロ氷雪国体

「ゆめ半島千葉国体」 香川県選手団の成績

第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」が9月25日(土)から10月5日(火)まで(一部競技を除く)、千葉県で開催されました。本県からは、37競技(公開競技を含む)に525名の選手団が参加し、21競技74種目で入賞を果たしました。その結果、冬国体・本国体を通して、天皇杯得点947点、皇后杯得点524.5点を獲得し、天皇杯順位24位、皇后杯順位20位となりました。



少年女子ソフトボールチーム(優勝)



少年女子カヌースプリント
カヤックフォア(200m)(優勝)

トピックス

○ サポート高松で四国地区体育指導委員研修会が開催されました。



サポート高松で四国4県の体育指導委員約800名が参加して地域スポーツの振興と、住民の心身の健全な発達を図ることを目的として、体育指導委員の資質向上を図るため、研修会が開催されました。1月22日(土)、23日(日)の両日にわたった研修会の初日では、地域において体育・スポーツの振興に顕著な功績があると認められる体育指導委員に対する表彰のほか、小豆島町出身で法政大学 体育・スポーツ研究センター所長である笠井 淳先生の講演や高松市出身でアイススレッジホッケー日本代表監督として2010年バンクーバー・パラリンピックで銀メダルを獲得した中北 浩仁先生の講演がありました。指導者としてこれまで素晴らしい選手を育ててきた二人のお話は、日ごろ地域でスポーツ指導に携わっている体育指導委員にとって大いに刺激となりました。

また、研修会2日目には、分科会に分かれ「スポーツによる地域づくり」をメインテーマに各県の活動状況が発表されました。地域スポーツに関する状況が大きく変わろうとしている今、体育指導委員が地域における体育・スポーツの発展に寄与するためには、指導委員各員の更なる資質の向上が必要との認識を新たにしました。(香川県体育指導委員連絡協議会事務局)



インフォメーション

文部科学省は、今後の我が国のスポーツ政策の基本的方向性を示す「スポーツ立国戦略」を策定しました。(平成22年8月26日)

戦略は、我が国の「新たなスポーツ文化の確立」を目指し、

- 人(する人、観る人、支える(育てる)人)の重視
- 連携・協働の推進

を「基本的な考え方」として、今後概ね10年間で実施すべき5つの重点戦略、政策目標、重点的に実施すべき施策や体制整備の在り方などをパッケージとして示した広範囲をカバーするものとなっています。

1. 人(する人、観る人、支える(育てる)人)の重視
2. 連携・協働の推進
の基本的な考え方のもと、実施すべき5つの重点戦略として、
 - (1) ライフステージに応じたスポーツ機会の創造
 - (2) 世界で競い合うトップアスリートの育成・強化
 - (3) スポーツ界の連携・協働による「好循環」の創出
 - (4) スポーツ界における透明性や公平・公正性の向上
 - (5) 社会全体でスポーツを支える基盤の整備を掲げています。基本的な考え方は次の通りとなっています。



スポーツ立国戦略の概要

ースポーツコミュニティ・ニッポンー

I スポーツ立国戦略の目指す姿

新たなスポーツ文化の確立

～すべての人々にスポーツを！ スポーツの楽しみ・感動を分かち、支え合う社会へ～

II 基本的な考え方

1. 人(する人、観る人、支える(育てる)人)の重視

すべての人々のスポーツ機会の確保、安全・公正にスポーツを行なうことができる環境の整備

2. 連携・協働の推進

* トップスポーツと地域スポーツの好循環の創出
* 新しい公共の形成等による社会全体でスポーツを支える基盤の整備

②世界で競い合うトップアスリートの育成・強化

◆世界の強豪国に伍する競技力向上を図るため、ジュニア期からトップレベルに至る体系的な強化体制を構築する。

◆今季の夏季・冬季オリンピック競技大会について、それぞれ過去最多(夏季37(アテネ)、冬季10(長野))を超えるメダル数の獲得を目指す。また、オリンピック競技大会及び各世界選手権大会において、過去最多(オリンピック競技大会では、夏季52(北京)、冬季25(ソルトレークシティー))を超える入賞者数を目指す。さらに、将来を見据えた中、長期的な強化・育成戦略を推進する観点から、各ジュニア選手権大会のメダル獲得数の大幅増を目指す。

◆トップアスリートがジュニア期から引退後まで安心して競技に専念することができる環境を整備する。

◆国際競技大会等を積極的に招致・開催し、競技力向上を含めたスポーツの振興、地域の活性化等を図る。

④スポーツ界における透明性や公平・公正性の向上

◆スポーツ団体のガバナンスを強化し、団体の管理運営の透明性を高めるとともに、スポーツ紛争の迅速・円滑な解決を支援し、公平・公正なスポーツ界を実現する。

◆ドーピングのないクリーンで公正なスポーツ界を実現する。

III 5つの重点戦略

①ライフステージに応じたスポーツ機会の創造

◆国民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現する。

◆その目標として、できるかぎり早期に成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)、成人の週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人(30%程度)となることを目指す。

◆豊かなスポーツライフを実現する基礎となる学校体育・運動部活動の充実を図る。

③スポーツ界の連携・協働による「好循環」の創出

◆トップスポーツと地域スポーツの好循環を創出するため、広域市町村圏(全国300箇所程度)を目安として、拠点となる総合型クラブ(「拠点クラブ」)に引退後のトップアスリートなど優れた指導者を配置する。

◆学校と地域の連携を強化し、人材の好循環を図るため学校体育・運動部活動で活用する地域のスポーツ人材の拡充を目指す。

⑤社会全体でスポーツを支える基盤の整備

◆地域スポーツ活動の推進により「新しい公共」の形成を促すとともに、国民のスポーツへの興味・関心を高めるための国民運動や展開や税制措置等により、社会全体でスポーツを支えるための基盤を整備する。

文部科学省では今後の進め方として、本戦略を踏まえ、「スポーツ基本法」等の検討に取り組むとともに、短期的に実現すべき施策については、財政運営戦略を踏まえた平成23年度の概算要求や、スポーツ振興くじ・スポーツ振興基金の助成内容に反映させる。また、中長期的に取り組むべき施策については、今後新たに策定するスポーツ振興基本計画において具体的な実施計画を示すこととしています。